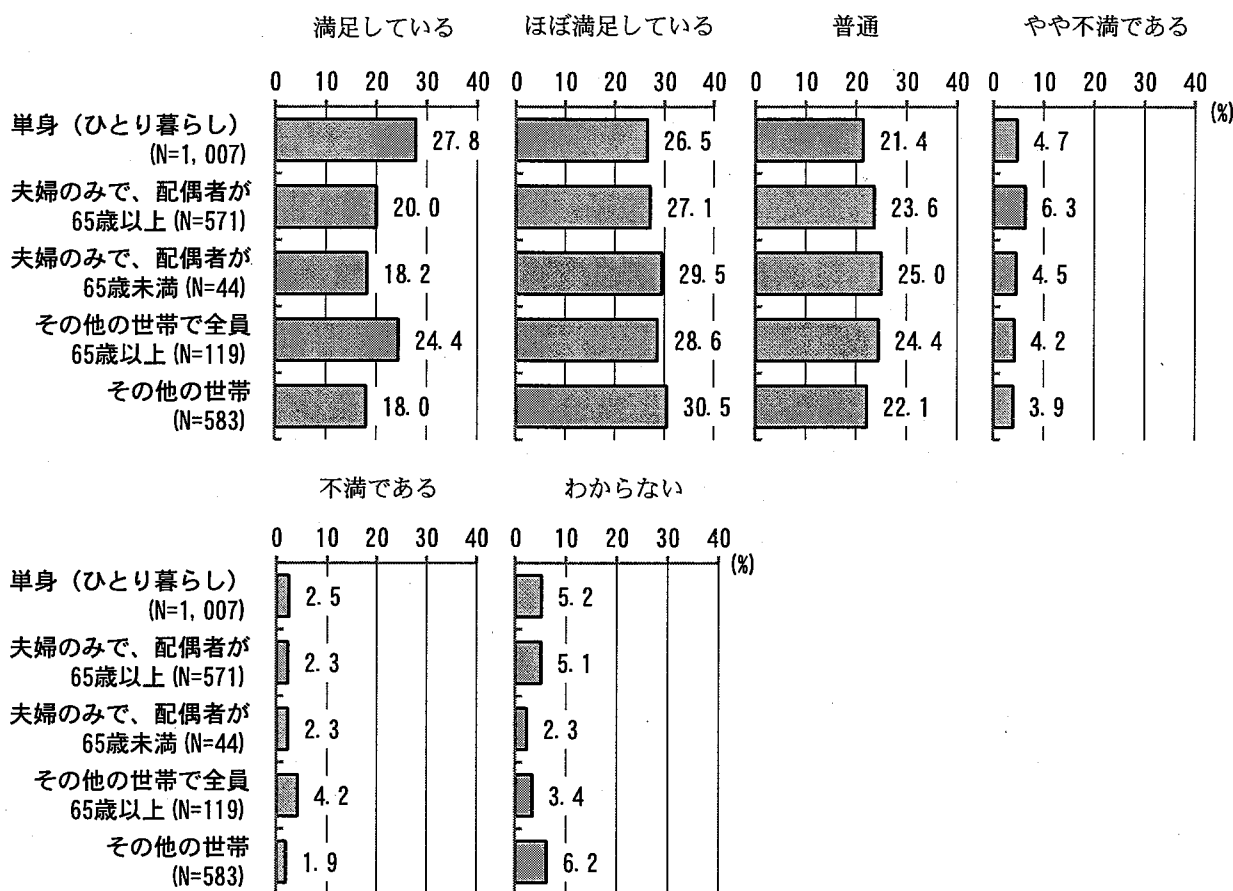


世帯の状況別で見ると、単身（ひとり暮らし）世帯は「満足している」が27.8%で最も多く、それ以外の世帯も「ほぼ満足している」が3割前後で最も多くなっている。また、世帯の状況に関わらず、『満足』割合は5割前後を占めており、なかでも単身（ひとり暮らし）世帯は54.3%、その他の世帯で全員65歳以上の世帯は53.0%と高くなっている。（図4-6-2）

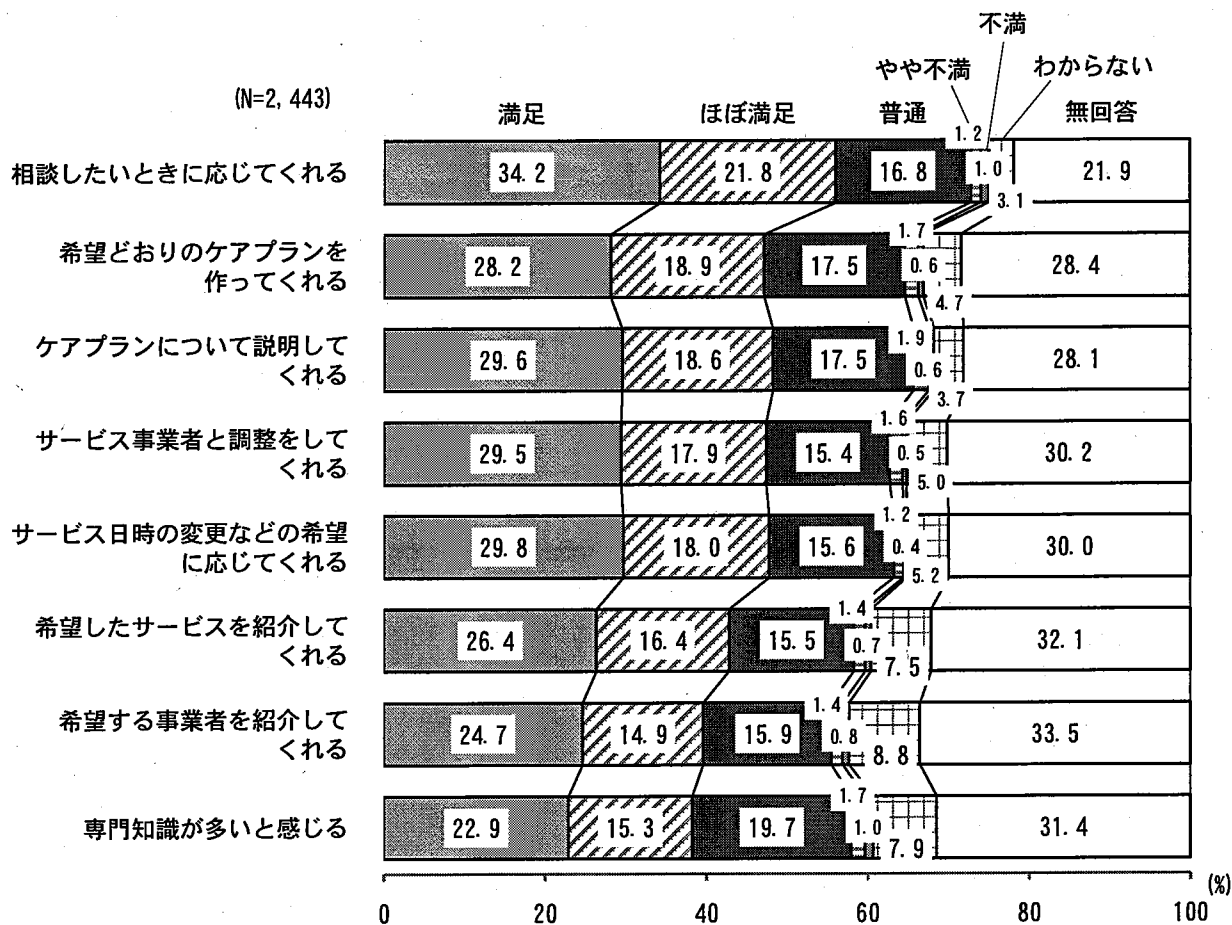
【図4-6-2 現在利用している介護保険サービスの満足度（世帯の状況別）】



⑦ 介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度

問11 現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の項目の満足度をおたずねします。（それぞれ○はひとつ）

【図4-7 介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度】

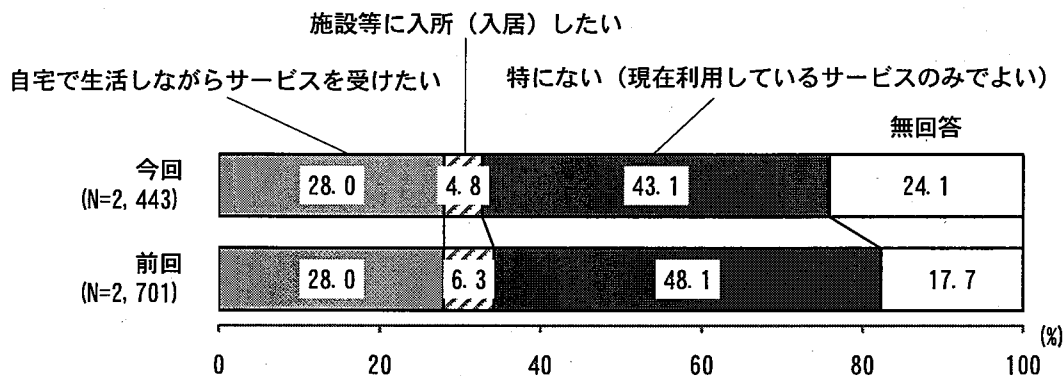


介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、なかでも“相談したいときに応じてくれる”が34.2%と高くなっている。また、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』割合では、“相談したいときに応じてくれる”が56.0%で最も高く、次いで“ケアプランについて説明してくれる”が48.2%、“サービス日時の変更などの希望に応じてくれる”が47.8%となっている。（図4-7）

⑧ 1年以内に利用したい介護保険サービス

問12 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについておたずねします。(○はひとつ)

【図4-8 1年以内に利用したい介護保険サービス (比較)】

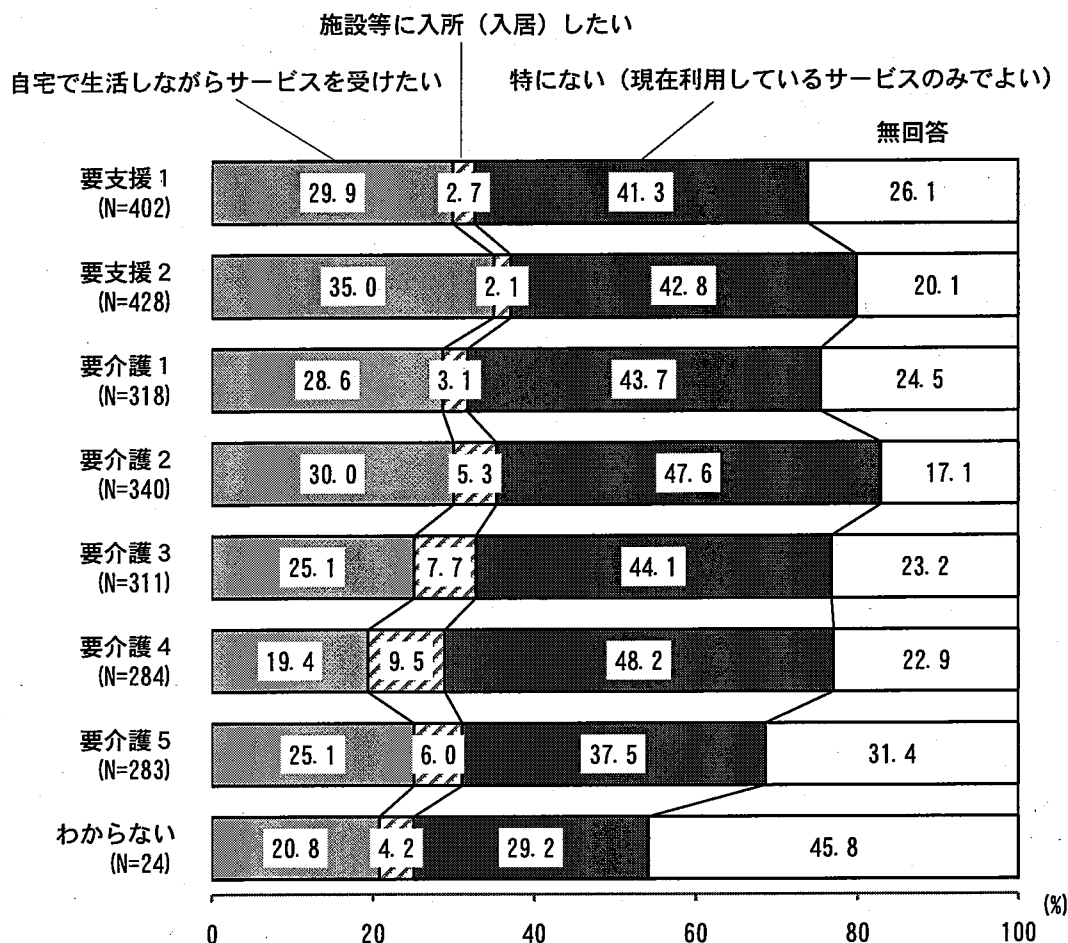


1年以内に利用したい介護保険サービスについては、「特にない (現在利用しているサービスのみでよい)」が43.1%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「施設等に入所 (入居) したい」は4.8%となっている。

前回調査と比較すると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」に変化はなく、「施設に入所 (入居) したい」は1.5ポイントの減少、「特にない (現在利用しているサービスのみでよい)」も5.0ポイント減少している。(図4-8)

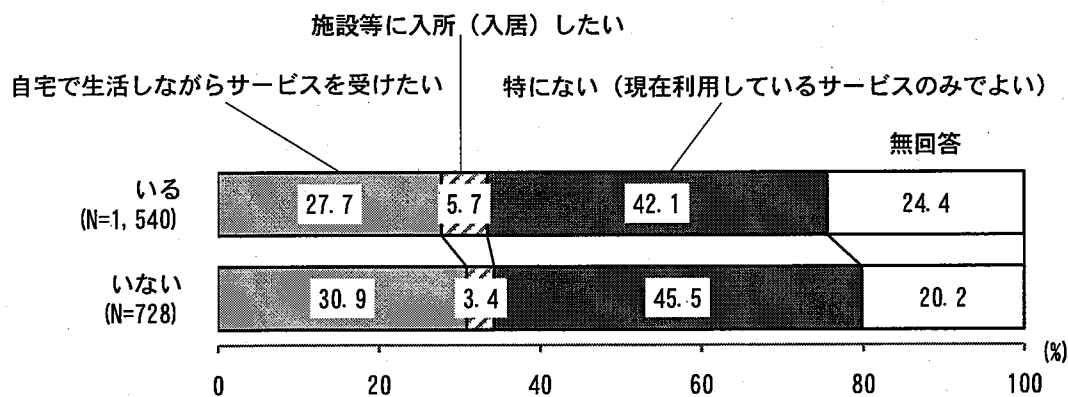
要介護度別でみると、要介護度に関わらず、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多くなっている。なお、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は要支援2（35.0%）が、「施設等に入所（入居）したい」では要介護4（9.5%）が、それぞれ他の要介護度に比べ高くなっている。（図4-8-1）

【図4-8-1 1年以内に利用したい介護保険サービス（要介護度別）】



介護する人の有無別でみると、いる・いないに関わらず、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が4割台で最も多くなっている。なお、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は、介護者がいる人に比べ、いない人のほうが3.2ポイント高くなっている。一方、「施設等に入所（入居）したい」では、介護者がいない人に比べ、いる人のほうが2.3ポイント高くなっている。（図4-8-2）

【図4-8-2 1年以内に利用したい介護保険サービス（介護する人の有無別）】

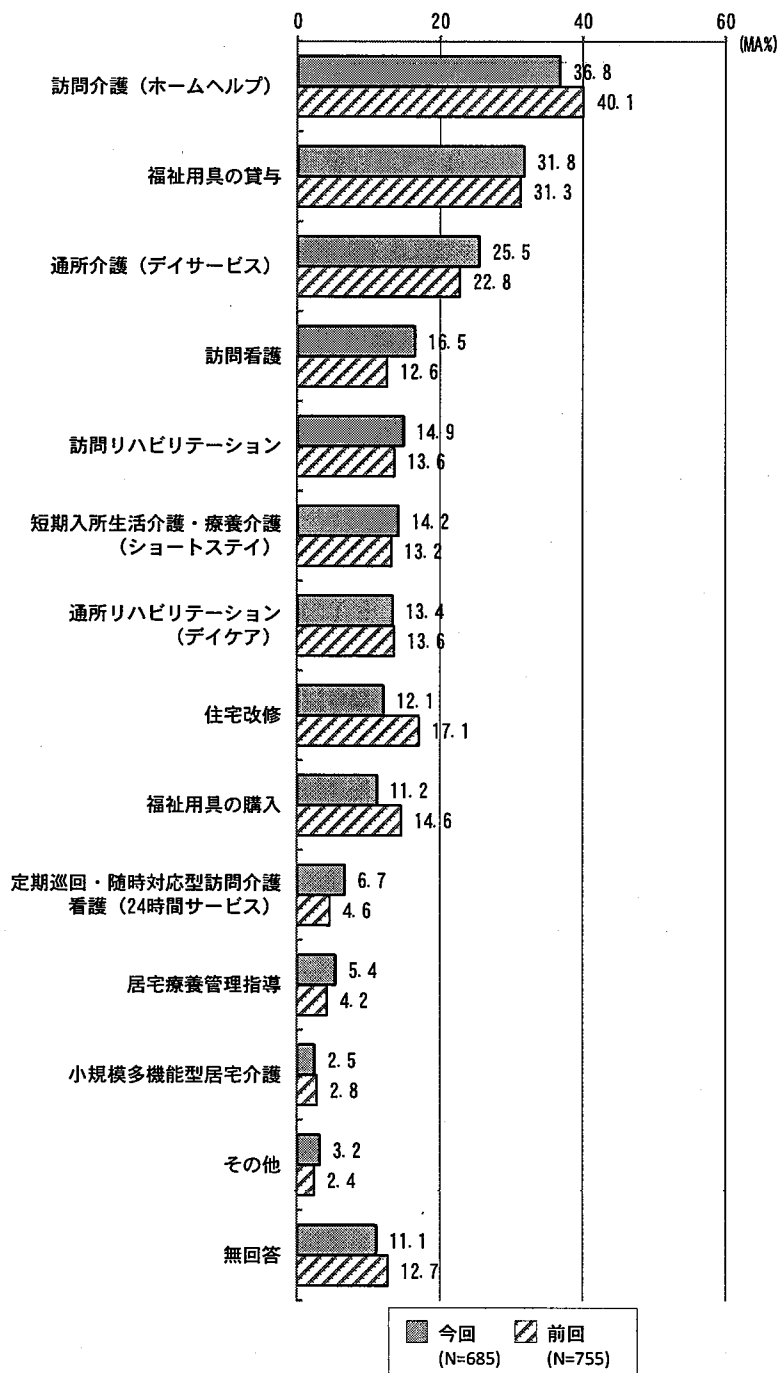


⑨ 1年以内に利用したい居宅の介護保険サービス

【問12で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」に○をつけた方のみお答えください。】

問12-1 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【図4-9 1年以内に利用したい居宅の介護保険サービス（比較）】

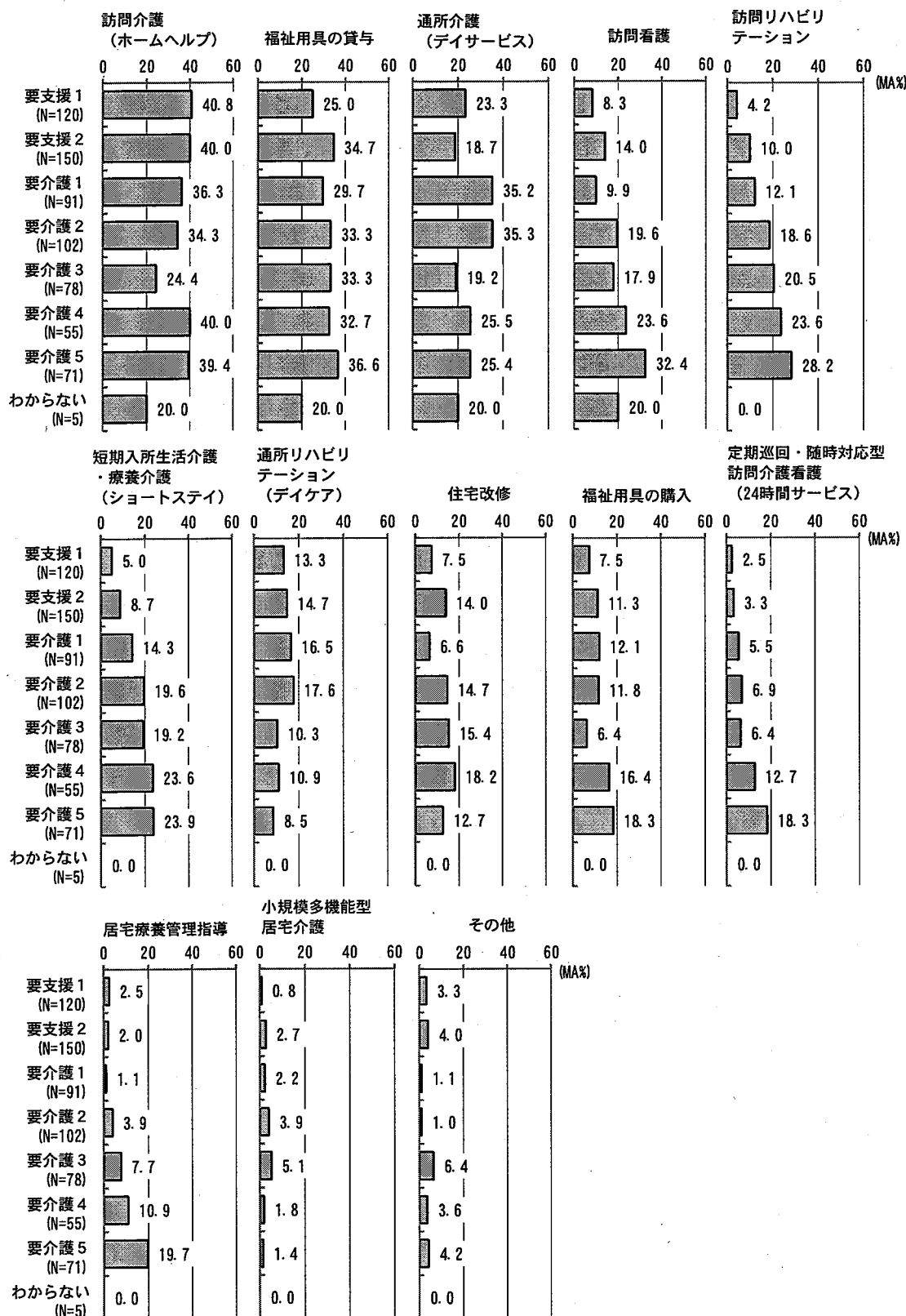


自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、1年以内に利用したい居宅の介護保険サービスをたずねると、「訪問介護 (ホームヘルプ)」が36.8%で最も多く、次いで「福祉用具の貸与」が31.8%、「通所介護 (デイサービス)」が25.5%となっている。

前回調査と比較すると、「訪問介護 (ホームヘルプ)」は3.3ポイント減少、「住宅改修」は5.0ポイント減少、「福祉用具の購入」は3.4ポイント減少となっている。一方、「通所介護 (デイサービス)」が2.7ポイント増加、「訪問看護」が3.9ポイント増加している。(図4-9)

要介護度別でみると、要介護2は「通所介護（デイサービス）」が、要介護3は「福祉用具の貸与」が、その他の要介護度は「訪問介護（ホームヘルプ）」が、それぞれ最も多くなっている。要介護度が高くなるほど、「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」、「居宅療養管理指導」の各割合が上昇傾向にある。また、「通所介護（デイサービス）」は要介護1・2が他の要介護度に比べ高くなっている。（図4-9-1）

【図4-9-1 1年以内に利用したい居宅の介護保険サービス（要介護度別）】

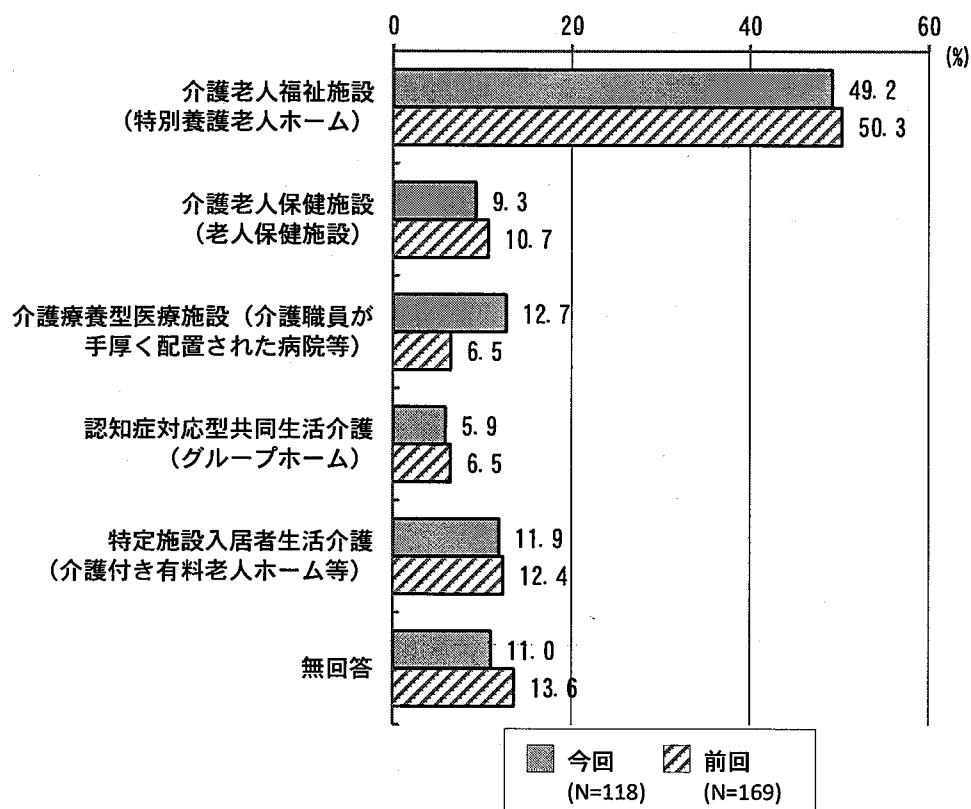


⑩ 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス

【問12で「2 施設等に入所（入居）したい」に○をつけた方のみお答えください。】

問12-2 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

【図4-10 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（比較）】

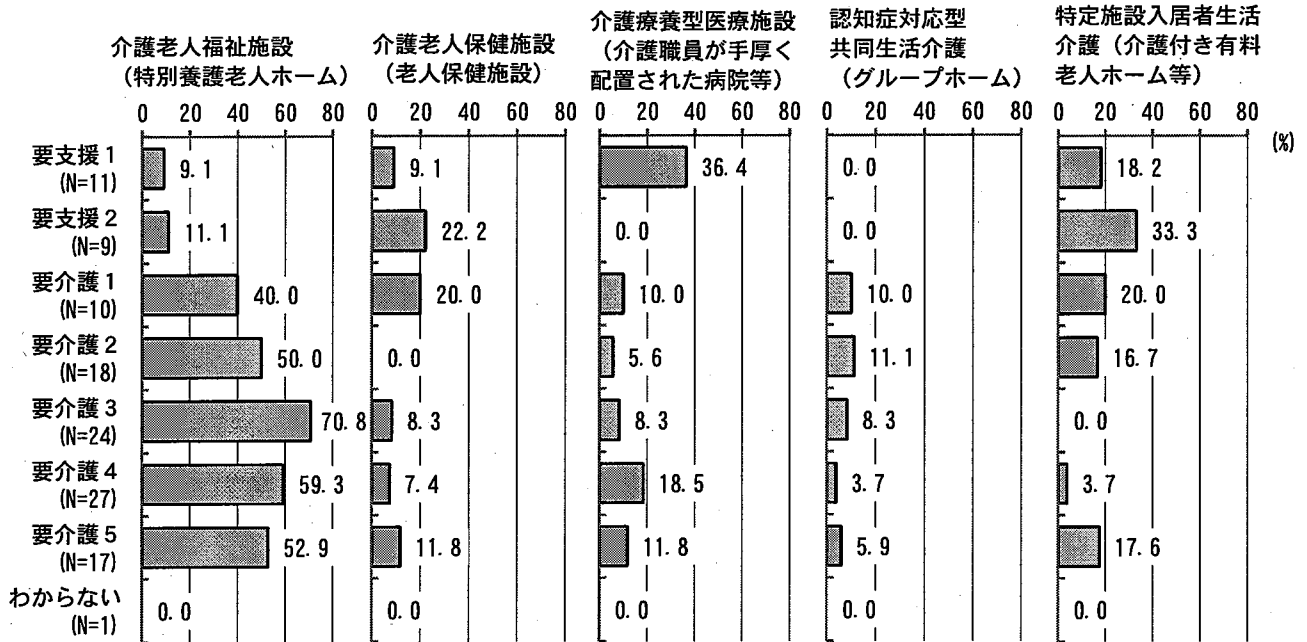


施設に入所・入居したいと回答した人に、1年以内に利用したい施設の介護保険サービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が49.2%で最も多く、次いで「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が12.7%、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が11.9%となっている。

前回調査と比較すると、「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が6.2ポイント増加している。（図4-10）

要介護度別でみると、要支援1は「介護療養型医療施設」が、要支援2は「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が、それぞれ最も多くなっている。要介護1～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、なかでも要介護3は70.8%と他の要介護度に比べ高くなっている。（図表4-10-1）

【図4-10-1 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（要介護度別）】



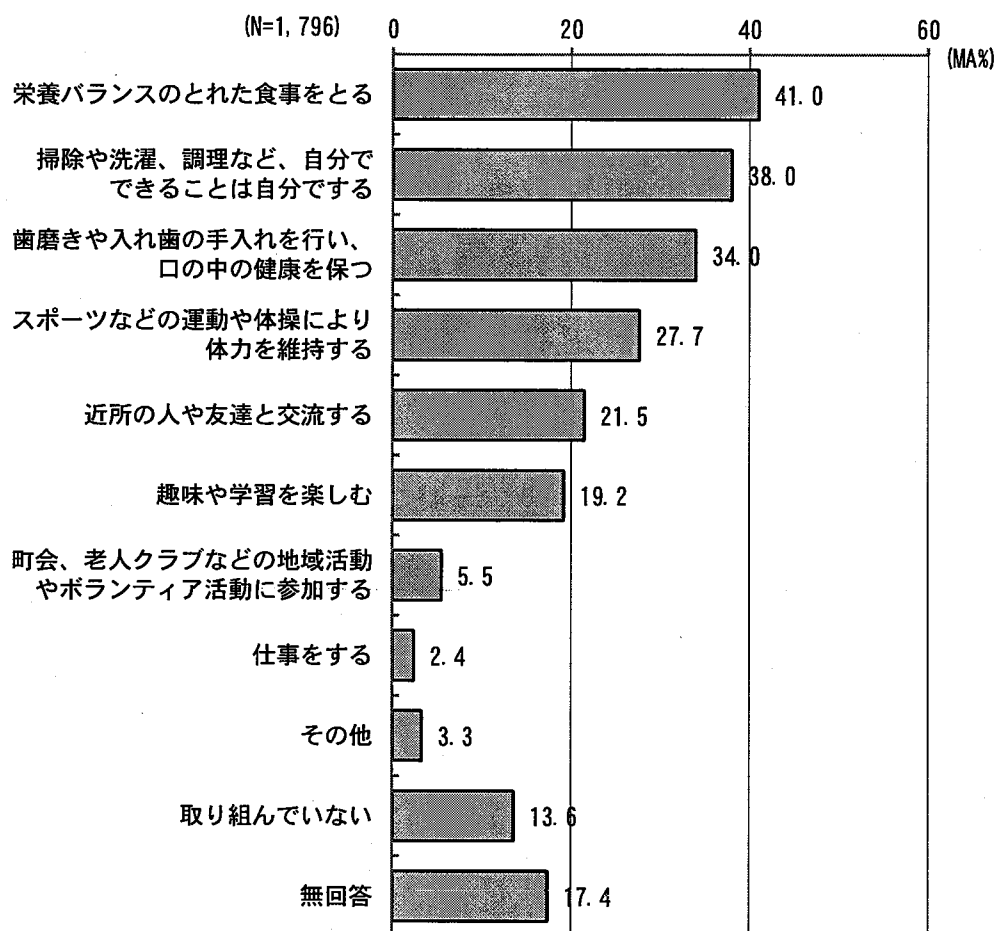
(5) 介護予防の取り組み

① 介護予防としての取り組み

【ご自宅で介護保険サービスをご利用されている方のみお答えください。】

問13 あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは何ですか。(○はいくつでも)

【図5-1 介護予防としての取り組み】



自宅で介護保険サービスを利用している人に、介護予防の取り組みについてたずねると、「栄養バランスのとれた食事をとる」が41.0%で最も多く、次いで「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分です」が38.0%、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が34.0%となっている。(図5-1)

年齢別で見ると、40～64歳・70～74歳・80～84歳・90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、65～69歳と85～89歳は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、それぞれ最も多く、75～79歳ではそれら両項目とも同率で最も多くなっている。また、40～64歳は「仕事をする」が17.1%で他の年齢に比べ高くなっている。「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」は高齢になるほど低下傾向にある。「近所の人や友達と交流する」では70歳代・80歳代が2割台に対し、90歳以上になると14.9%に低下している。
(図5-1-1)

【図5-1-1 介護予防としての取り組み（年齢別）】

